



女城主・井伊直虎ゆかいの地めぐりウォーク

2017.11.26 15km ゆったり7km

緊急時連絡

鈴木 寛 090-7308-1056

山田修三 090-1785-1895

参加者の皆様へ

- ・ 無断で単独行動をとらないようにしてください。
- ・ 主催者は、歩行中の事故について傷害保険に加入している他は応急措置以外の責任は負いません。
- ・ スタート前には必ずトイレを済ませてください。
- ・ 原則として右側通行を遵守し、2列以内で歩きましょう。
- ・ 一般道を横切の場合は、役員の指示に従ってください。
- ・ 体調が悪くなったら遠慮せずに役員に連絡願います。

次回申込 (バスの中で) 身延線チャレンジウォーク

☆期 日 12月10日(日)

☆集 合 富士宮駅南口 6:55

☆参加費 1,000円

☆℞ 切 12月5日(火)

コースの概要

龍潭寺の駐車場下車し、まず井伊家初代共保公出生の井戸に行き、龍潭寺に戻ります。寺を見学後、境内を歩いて隣接する井伊谷宮(いいのやぐう)に行き、駐車場で体操です。直虎の菩提寺、妙雲寺の前を通過して渭伊(いい)神社、天白磐座(てんぱくいわくら)遺跡に行きます。古墳時代の巨石祭祀(さいし)の遺跡です。神宮寺川に沿ってぐるりと歩くと草むらの中に小さな祠(ほこら)が見えます。直虎のお墓です。龍潭寺にもお墓がありますが、埋葬されたのはこの地らしいです。そこから20分ほど歩いて地域遺産センターでトイレ休憩です。2Fは井伊谷関連の展示室になっているのでこちらも楽しみましょう。休憩後は本日の難所、井伊谷城跡までのミニハイキングです。30分足らずですが急坂なので杖を使いましょう。城跡で昼食タイムになります。昼食後は別のルートを下ります。上りよりやや緩やかです。足切観音の前を通過するとすぐに井殿の塚、井伊氏居館跡です。居館跡はすでに住宅地になっていて、今は旗と表示板があるだけです。その後は町中の道を歩いてバスの待機場所まで行きます。ゆったりコースの方はここでバスに乗って気賀の関所まで行きます。関所(無料)や大河ドラマ館(600円、20名以上480円は個人負担です)などの見学をお楽しみください。

普通コースは井伊谷川の土手を歩き、金指小、湖北高校を過ぎて金指駅まで歩いてトイレ休憩です。基本は金指駅のトイレですが、数が少ないので隣のスーパー(パロー)のトイレもお借ります。次は直虎のいいなずけである直親のお墓に行きます。都田川の土手沿いにあります。なかなか見つけにくい場所にひっそりと土盛りがあります。その後は都田川の土手を歩いて気賀の関所に到着、トイレ休憩後、堀川城址先のバス乗降場所まで歩いてゴールです。ゆったりコースもここまで歩いてバスに乗ります。

井伊谷宮(いいのやぐう)

静岡県浜松市北区の井伊谷にある神社である。旧社格は官幣中社。建武中興十五社の一社である。後醍醐天皇の第四皇子で南北朝時代に征東将軍として関東各地を転戦した宗良(むねなが)親王を祀る。元中2年(1385年)8月10日に73歳で歿した地と伝えられ(他説もある)、社殿の背後に宗良親王の墳墓がある。

渭伊神社・天白磐座(てんぱくいわくら)遺跡

南北乱の時龍潭寺の境内から現在地に移ったといわれる。井戸や井水を祭祀対象とした神社で、井伊氏の発祥とともに氏神になった。本殿背後の丘には古墳時代の巨石祭祀の遺跡、天白磐座遺跡がある。

気賀関所 WC 15:50~16:10

堀川城址

井伊谷城跡

標高115m、丘陵に築かれた井伊氏の城館。井伊氏の本拠地は井伊谷城とその山麓にあった居館に加え、最終的な詰め城である三岳城で構成されていた。

井殿の塚

天文13年(1544)、家老の小野和泉守道高の讒言(ざんげん)により謀反の疑いをかけられ、駿河で今川義元(よしかず)に討ち取られた直満と弟直義の墓。事件後居館の一面に供養のための塚を築き一本の松を植えたと言い伝えられる。

金指駅(WC) 14:20~35

井伊直親の墓 14:50~15:00

井伊直虎

井伊直虎(次郎法師)は、井伊家第22代当主・直盛の一人娘。直盛には男子がなく早くより娘の許婚(いいなずけ)として従弟(いとこ)の井伊直親に家督(かどく)を継がせる予定であった。ところが直親の父が今川氏に殺され、直親(9歳)自身も命を狙われたため、信州へ身を隠すことに。直虎は直親が亡くなったと思い、龍潭寺で出家し次郎法師を名乗る。11年後、井伊谷に戻った直親は、直盛の養子となり奥山家の娘と結婚し、虎松(24代直政)が生まれる。1560年(永禄3年)、桶狭間の戦いで直虎の父・22代直盛戦死。井伊家の家臣多数死亡し、大きな損失を被る。1562年(永禄5年)、23代直親が謀殺されると井伊家は存続の危機に。翌年、20代直平死去。井伊の名を継ぐ男子は、直親の遺児、幼い虎松ただ一人となり、1565年(永禄8年)龍潭寺南溪和尚の計らいで次郎法師はその後見人として井伊直虎と名乗り、女領主として井伊家を支えた。井伊谷徳政令にみられる政治手腕は優れており、歴代当主に記名はないが井伊家受難の時代を救った女領主として後世に語り継がれる人物である。身を隠していた直政を1575年(天正3年)浜松城主 徳川家康公に仕えさせ、出世を見届けた直虎は、1582年(天正10年)8月26日、激動の人生に幕をとじる。

龍潭寺(りょうたんじ)

行基菩薩によって733年に開創された臨済宗妙心寺派の寺院。永禄3年(1560年)桶狭間の戦いで戦死した井伊直盛の戒名をとり「龍潭寺」と寺号が改められた。龍潭寺は、井伊家歴代当主の御霊が眠る菩提寺であり、生前結ばれることのなかった「井伊直親」の墓と隣合って「井伊直虎」のお墓も祀られている。また、「日本の森百選」に選ばれるほどの美しさを誇る約1万坪の境内には、緑豊かな木々が生き茂り、静寂に包まれた心休まる空間となっている。国指定の名勝庭園をはじめ、赤地に「井」の記が描かれた籠など、井伊氏拝領の品々も収められ、江戸時代に建立されたといわれている龍潭寺伽藍6棟(本堂、庫裏、山門、開山堂、井伊家霊屋、稲荷堂)は、貴重な文化資源として静岡県指定有形文化財に認定されている。